

2 自然と緑の保全と創造

▶ 現況と課題

◆ 平成13年3月現在での市民1人あたりの都市公園[※]面積は8.0m²となっています。計画的に造成された住宅地を除き、公園が不足している区域が多くなっており、アンケートからも、身近な環境問題として公園や緑の不足をあげる人が多くなっています。

また、市民環境懇話会の調査などからは、公園の使いづらさへの指摘や地域住民による管理などの意見もあがっており、市民との協働による身近な公園の活用が必要となっています。

塩竈のまちの特性上、市内においてまとまった緑を確保できる場所は限られていることから、法面や私有地などの緑化を積極的に推進し、それらの小さな緑を結びつけていくことが必要となっています。

◆ 市内の緑や生物の生息環境は、鹽竈神社周辺、伊保石地区、加瀬沼周辺、島嶼部^{とうしょ}に多く、これらの地域には貴重な動植物の生息も報告されており、保全していくことが必要となっています。

また、近年の市内の海におけるCODは、一時期増加がみられたこともあり、引き続き下水道の普及などによる水質改善に努めるとともに、浅海漁業などの湾内環境への配慮も必要となっています。

◆ 松島湾は県立自然公園に指定されており、島嶼部^{とうしょ}には豊かで貴重な自然・景観が残されています。

しかし、アンケートでは親水性を求める声は高く、海の景観保全や島の自然景観を引き続き保全していくとともに、広く市民がその素晴らしさを知り、楽しむことができる貴重な資源としての活用が求められています。

また、浦戸地区では集落環境の整備などにより生活基盤づくりを進めてきていますが、今後の整備にあたっては、自然や環境に配慮した視点での取り組みが必要となっています。



越の浦地区



ミヤマカワトンボ
(伊保石公園で撮影)

市内の公園緑地の現況とこれからの計画は…

[都市計画公園、緑地の状況]

区分	箇所		面積 (ha)		備考
	計画	供用	計画	供用	
街区公園	30	30	5.54	5.57	
近隣公園	3	3	4.80	4.69	
総合公園	1	1	66.50	30.03	
広域公園	1		8.10	未供用	全体102.3ha
墓園	1	1	6.09	2.15	
緑地	2	2	7.44	7.53	
合計	38	37	98.47	49.97	

出典：「平成13年度塩竈市統計書」

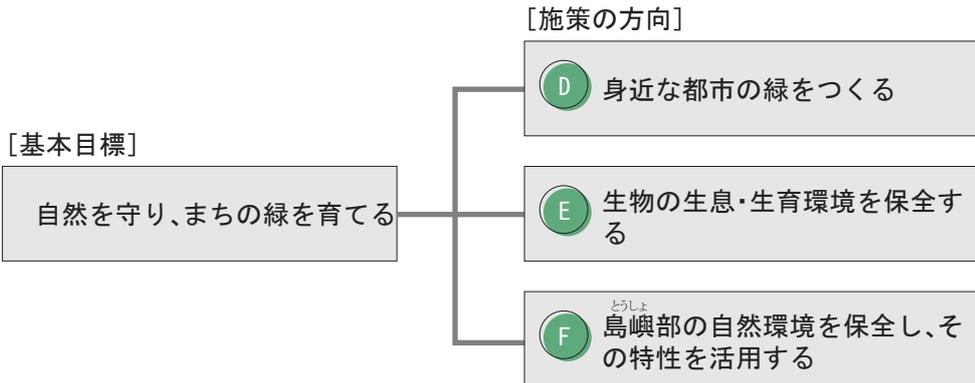
※都市公園／都市公園法に基づき、国や地方自治体が設置する市民の休養・運動に供する公園または緑地のこと。

基本目標 (2) 自然を守り、まちの緑を育てる

管理指標

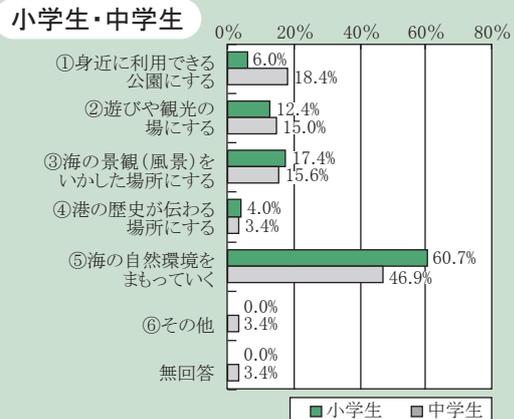
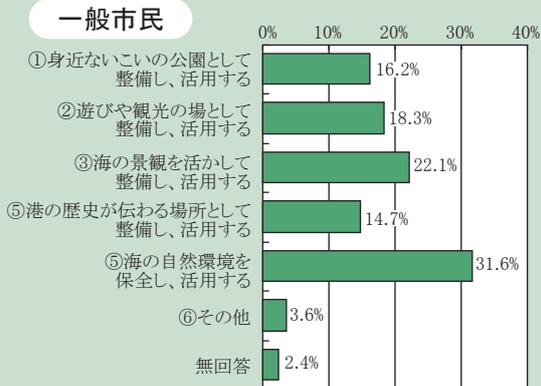
- 一人あたりの都市公園等面積を20m²に拡大し、市内幹線道路の街路樹整備率を26%以上にします。
- 8箇所以上の公園を再整備します。
- 生活排水処理率を99%以上に引き上げることを目標とします。
- 市民アンケート調査での「家やその周辺でみどりを育てている」の実施率を85%に引き上げることを目標とします。

施策の方向



市民の皆さんは身近な海をこのように活用したいと考えています…

[海の活用方向]



出典：「平成12年度塩竈市環境アンケート」

今ある緑を守るとともに、身近な緑を育て、結びつける取り組みをまち全体で進めます。そのために、限られた土地を有効に活用して、市民が親しめる公園・緑地を広げていきます。

また、身近な緑化を市民に呼びかけ、意識を高めるとともに、市民の主体的な活動の積極的な支援・連携を進めます。そして、それらの公園・緑地を結びつけ、うるおいある緑のネットワーク形成を図ります。

具体的施策

- 市民や事業者の緑化意識の向上を図ります。
 - ◇ 「花いっぱい運動や花と緑の日」の啓発
 - ◇ 「みどりの少年団」の支援・育成
- 公共施設の緑化や民有地の緑地保全など、まちなかの緑を増やし、ネットワーク化を進めます。
 - ◇ 緑の基本計画の策定、推進
 - ◇ 幹線道路の街路樹整備の推進
 - ◇ 花と緑のネットワークづくり(沿道型緑地整備)
 - ◇ 緑化協定制度の導入
 - ◇ みどりの基金の検討
- 地域のシンボルとなる樹木などを保全し、活用していきます。
- 市民との協働により身近な公園緑地の魅力を高め、積極的に活用を図ります。
 - ◇ 公園維持管理協定の推進
 - ◇ 公園のリニューアル整備



伊保石公園



浦戸 in ウォーク



花と緑の日のイベント

E 生物の生息・生育環境を保全する

生物の多様性を保全するために伊保石や加瀬沼、鹽竈神社など市内に残された貴重な生物生息環境を、生物の分布や生息圏等、広域の生態系にも配慮しつつ保全します。

また、きれいな塩竈の海を取り戻すために、引き続き水質改善策を推進するとともに、新たな生息環境づくりや、生態系と共存できる産業の支援・促進に努めます。

具体的施策

- 伊保石や加瀬沼、鹽竈神社など、市民の意見・要望を取り入れながら、市内に残された生物生息・生育環境の保全に努めます。
 - ◇ 伊保石公園、加瀬沼公園の整備
 - ◇ 河川などの水質調査の実施
- 樹木植栽の際に、地域の特性や生態系に配慮した選定をしていきます。
- 下水道の普及推進などにより、きれいな水環境づくりを進めます。
 - ◇ 公共下水道(汚水事業)の整備
 - ◇ 下水道への接続促進
 - ◇ 浦戸地区生活排水処理対策の推進
- 新しい技術の応用などにより、環境負荷の少ない漁場づくりを進めます。
 - ◇ 漁業協同組合(沿岸漁業構造改善事業)の支援
 - ◇ カキ殻応用漁場の造成

F 島嶼部の自然環境を保全し、その特性を活用する

島嶼部の自然・景観を塩竈の貴重な財産と位置づけ、保全していくとともに、その活用を図ります。

そのために、島嶼部の自然や景観に関する情報を広く市民と共有するとともに、地域学習への活用やイベントの開催など自然とふれあう機会を拡大し、島嶼部の自然・景観を身近に感じられる環境づくりに努めます。

また、浦戸に暮らす人々が、豊かな自然を享受し、それらと共存できる生活基盤づくりを進めます。

具体的施策

- 環境学習への活用やイベントの開催など、島嶼部の自然環境の保全意識を高めるとともにその利用機会を拡大していきます。
 - ◇ 身近な環境調査の実施、啓発
 - ◇ 自然に親しむ機会の提供、充実
- 豊かな自然を享受し、それらと共存できる浦戸地区の生活基盤づくりを進めます。
 - ◇ 漁業集落環境、海岸保全施設及び漁港の整備
 - ◇ 浦戸地区生活排水処理対策の推進【再掲】